



登録証とのぼりを手にする神戸洋平店長（中央）ら。右はブランド推進協議会の藤井勝公会長＝合志市

合志市「うまかもん店」1店追加

合志市の特産品づくりを進める地域ブランド推進協議会（会長・藤井勝公副市長）は29日、地元産の食材を使った料理を提供する同市須屋のレストラン「I a t t o m o（ラ・ティオーモ）」を、新たに「合志のうまかもん店」に登録した。

地産地消や独自の商品開発を進める店舗を支援する取り組みで、今回が13例目。登録店舗はオリジナルののぼりを掲げ、協議会がホームページやイベントなどで紹介する。

同店は地元産の卵や野菜などを購入し、和洋の創作料理やデザートに使用。パンは同じ「うまかもん店」の登録店舗から仕入れている。神戸洋平店長（30）は「おいしく新鮮な地元食材を食べて幸せになってほしい」と話していた。

市役所で登録証の授与式があり、藤井会長が神戸店長に登録証を手渡した。（鎌倉尊信）